

事務事業名	地元産品育成・PR事業			6次産業化促進事業
	とわだ産品推進戦略事業	十和田づくしフェア開催事業	販売推進戦略事業	6次産業化促進支援事業
担当課名	とわだ産品販売戦略課	とわだ産品販売戦略課	とわだ産品販売戦略課	とわだ産品販売戦略課
事業の方向性 【評価結果】	<ul style="list-style-type: none"> <li>●さらに重点化を図る（5名）</li> <li>・とわだ産品の販売増加のため、積極的に取り組んでほしい。</li> <li>・学校給食におけるとわだ産品の食材活用について、拡大の余地があるように思われる。重要な取組であり、積極的に進めてほしい。</li> <li>・関係団体等と連携をとり、コスト削減に向けた商品開発の工夫が必要だと思う。</li> <li>●現状のまま継続（5名）</li> <li>・商品開発には時間が必要だと思う。</li> <li>●内容を改善して継続（2名）</li> <li>・本市の基幹産業である「農業」の振興にとって重要な取組である。</li> <li>・商品価格を抑え、消費者が商品を手取る機会を増やす取組が必要だと思う。</li> <li>・商品パッケージの改良、小分け化などのほか、ギフト用セット商品の企画を検討してほしい。</li> <li>・上記の課題解決のため専門家からの指導、関係団体との連携が必要だと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●さらに重点化を図る（4名）</li> <li>・商品の良さは手に取らないと伝わらないことから、フェアの開催を継続してほしい。</li> <li>・イベントと同時開催のほか、単独でのフェア開催もしてほしい。</li> <li>●現状のまま継続（3名）</li> <li>・2017年開催の「あおり10市大祭典in十和田」でのPRに力を入れてほしい。</li> <li>●内容を改善して継続（3名）</li> <li>・費用対効果に疑問があるが、とわだ産品を広くPRする手段として必要である。</li> <li>・B-1グランプリの後、どのような内容でフェアを継続するかが課題だと思う。</li> <li>・集客とマスコミ等への情報発信の向上に向けた改善が必要である。</li> <li>・とわだ産品の販路拡大を評価する指標を示し、実績を検討してほしい。</li> <li>●事業の統廃合を図る（2名）</li> <li>・首都圏開催のイベントは単発であり、費用対効果を考慮するとインターネットによるPR等を検討すべきである。</li> <li>・フェア開催は継続せず、各イベントで必要があれば検討すべきである。</li> <li>・商談会は販路拡大のチャンスなので継続してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●さらに重点化を図る（5名）</li> <li>・とわだ産品のブランド化のために必要な事業である。</li> <li>・「十和田湖ひめます」のブランド化を積極的に取り組んでほしい。</li> <li>・年に1度の開催でも買いたい人は来るので、県外での物産展を継続して実施することが大切だと思う。</li> <li>・良い商品でも安定した供給がなくては、消費者が離れてしまうので、供給体制の構築が必要だと思う。</li> <li>・メディアや十和田ふぁみりーずを活用した情報発信、トップセールスを積極的に取り組んでほしい。</li> <li>●現状のまま継続（2名）</li> <li>●内容を改善して継続（4名）</li> <li>・アンテナショップでは、他の商品と比較してとわだ産品が埋もれない工夫が必要である。</li> <li>・とわだ産品のブランド力を高める取組をしてほしい。</li> <li>・伝わりやすい情報発信の方法について、検討が必要だと思う。</li> <li>・市民に対し、地産地消の意識を高める事業や地産地消の農作物の販売を推進する戦略に取り組んでほしい。</li> <li>●事業の統廃合を図る（1名）</li> <li>・とわだ産品推進戦略事業との重複もあるため、事業の統廃合や組み換えを検討する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●さらに重点化を図る（7名）</li> <li>・農業所得向上を図るため重要な事業である。効率的に加工品を製造できるよう、機械化を進める支援が必要である。</li> <li>・市内に出来る加工場の利用により、商品のコスト削減が図られることに期待する。</li> <li>・6次産業化の推進には、専門家や関係団体のアドバイスが欠かせないため、重点的に取り組んでほしい。</li> <li>・雇用創出の面からも、生産者、加工業者、販売者相互の連携強化を図ることが必要である。</li> <li>●現状のまま継続（3名）</li> <li>●内容を改善して継続（2名）</li> <li>・消費者のニーズに合った商品開発に向け、さらに支援する取組が必要である。</li> <li>・意欲ある事業者や農業者団体などを掘り起してほしい。</li> </ul>
その他意見 指摘事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者の新規参加が増えることを期待する。</li> <li>・地元生産者と市の間で事業評価を実施してほしい。</li> <li>・利用者の声も外部評価へ取り入れてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とわだ産品を組み合わせた贈答向け商品を検討してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットでは新しい情報を継続して提供することが不可欠である。アンテナショップなどの情報をfacebookなどで継続して発信してほしい。</li> <li>・消費者と生産者の交流や消費者による生産者の応援事業、中食・外食産業に対する地産地消商品の提供などに取り組んでほしい。</li> <li>・市民に対する地産地消イベントの開催や地産地消商品の宅配を実施してほしい。</li> <li>・情報発信力の強化が決め手となる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者が本市の一次産品をどの程度知っているかが販路拡大のポイント。関係団体と連携し、一次産業から六次産業まで補完できる戦略が必要である。</li> </ul>

事務事業名	地域資源を活用した観光振興事業			
	観光パンフレット作成事業	プロジェクションマッピング事業	観光施設Wi-Fi化事業	七戸十和田奥入瀬シャトルバス運行事業
担当課名	観光推進課	観光推進課	観光推進課	政策財政課
事業の方向性【評価結果】	<ul style="list-style-type: none"> <li>●さらに重点化を図る（4名）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・インバウンド対策を考慮し、パンフレットの内容を充実する必要がある。</li> <li>・情報内容の充実を図り、継続した情報発信が必要だと思う。</li> <li>・誘客にあたり、外部への売り込み体制の構築が必要である。</li> </ul> </li> <li>●現状のまま継続（5名）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・デザインや見やすさに優れたパンフレットであり、誘客に有効だと思う。</li> <li>・パンフレットの配布に力を入れ、誘客に結びつけてほしい。</li> <li>・北海道新幹線開業の機会を逃さず、積極的に周知してほしい。</li> <li>・観光客を呼び込むためには重要なツールである。パンフレットの配布場所や配布方法などを工夫して取り組んでほしい。</li> </ul> </li> <li>●内容を改善して継続（3名）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソーシャルネットワークサービスを更に活用した方がいいと思う。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●現状のまま継続（2名）</li> <li>●内容を改善して継続（1名）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・周知方法と費用対効果について、検討が必要である。</li> </ul> </li> <li>●事業の統廃合を図る（1名）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・集客を多くするには、秋祭りなど人が集まるイベントとの併催が必要だと思う。</li> </ul> </li> <li>●休止または廃止（8名）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民参加や大学との連携など成果はあると思うが、費用対効果が低いため、休止はやむを得ない。</li> <li>・費用対効果を考慮し、休止又は廃止すべきである。</li> <li>・冬季に中心街を盛り上げる別の方法を検討してはどうか。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●さらに重点化を図る（4名）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・民間施設へのWi-Fi設置補助を検討し、積極的に進めてほしい。</li> <li>・公共施設や民間施設を含め、Wi-Fi化を進めることにより、「Wi-Fiがつながる十和田」というブランドを目指すべきであると思う。</li> <li>・観光客を多く呼び込むためにも必要な取組である。</li> </ul> </li> <li>●現状のまま継続（6名）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客への利便性を高めるため、設置場所を増やしてほしい。</li> <li>・官庁街通りへの面的なWi-Fi整備を実施してほしい。</li> <li>・多方面からの観光振興策が必要であり、本事業もそのひとつの事業と考える。利便性向上につながる設置を検討しながら継続して取り組んでほしい。</li> </ul> </li> <li>●内容を改善して継続（1名）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・フリーWi-Fiは、情報収集するうえで、国内外の観光客にとって重要である。観光パンフレット作成事業と連動して実施してほしい。</li> </ul> </li> <li>●事業の統廃合を図る（1名）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・他事業でもWi-Fiの推進がある。有効な方法で進めてほしい。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●現状のまま継続（8名）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・二次交通が少ない本市にとっては必要不可欠な事業である。</li> <li>・七戸十和田駅の有効活用に向け、更にいい方策を検討してほしい。</li> <li>・利用状況をみながら、予約制の導入を検討してほしい。</li> <li>・関係機関との調整が必要である。</li> </ul> </li> <li>●内容を改善して継続（4名）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・予約制のシャトルバスの運行やレンタカー及びタクシーへの振替、路線バスの活用を含め、状況に合わせ、運行内容を検討してはどうか。</li> <li>・料金の見直しが必要である。</li> </ul> </li> </ul>
その他意見指摘事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙媒体のみならず、市役所のHPのほか、関係団体のHPからでもパンフレットが閲覧できるようにしてほしい。</li> <li>・旅行関連業界に対する情報提供やマスコミを上手く活用した情報発信の取組を検討してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源を活用した観光振興事業が必要であり、地域資源の調査・掘り起こし・活用を促進する取組について検討してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験型、滞在型の観光を進めるための地域資源の掘り起こしを望む。</li> <li>・観光客が市内でWi-Fiへ接続する際に、観光や名産品、食事場所等の情報を得られる仕組みが重要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奥入瀬渓流への自動車乗り入れ廃止と共に、自由に乗り降り可能なバスの運行を検討してほしい。</li> <li>・他の民間バス会社との競争、競合により、更に観光地への誘客、回遊性を持たせることができ、効果的な面があると思う。</li> </ul>

事務事業名	人材育成支援事業	移住促進事業		特定不妊治療費支援事業
	若手観光ガイド育成事業	移住希望者PR事業	住宅取得助成事業	特定不妊治療費支援事業
担当課名	観光推進課	政策財政課	政策財政課	こども子育て支援課
事業の方向性 【評価結果】	<ul style="list-style-type: none"> <li>●さらに重点化を図る（3名）</li> <li>・十和田西高校の差別化を図るため、観光ガイド体験を恒常化することを検討してほしい。</li> <li>・観光資源の掘り起しを進めるため、生徒活動等の拡大を検討してほしい。</li> <li>●現状のまま継続（5名）</li> <li>・観光振興及び人材育成の観点から必要な事業である。</li> <li>・人材育成のため、情報発信の方法を工夫しながら、十和田西高校との連携を深めてほしい。</li> <li>・PR効果を更に高めてほしい。</li> <li>●内容を改善して継続（4名）</li> <li>・エコロードフェスタ期間でも、事業を目立たせる工夫を検討してほしい。</li> <li>・十和田西高校の独自性や生徒の個性を活かした取り組みを進めてほしい。</li> <li>・若者が参加したくなる企画を検討してほしい。</li> <li>・市内にある他校の生徒の活用も検討してみてもどうか。</li> <li>・年配ガイドの育成を検討してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●さらに重点化を図る（6名）</li> <li>・様々な移住パターンに対応できるよう、今後も積極的に取り組んでほしい。</li> <li>・メディアの有効的な活用について検討してほしい。</li> <li>●現状のまま継続（5名）</li> <li>・移住に結びつけるためには、「お試し」事業の参加者に対して、継続したアプローチが必要である。</li> <li>・空き家バンクについては、登録増に向け、さらにPRをしてほしい。</li> <li>●内容を改善して継続（1名）</li> <li>・若年層の人口増加を図ることは、市の活性化のため重要である。特に創業に係る支援は、有効である。創業支援の取組について検討してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●さらに重点化を図る（7名）</li> <li>・さらに利用しやすい制度にしてほしい。</li> <li>・中心市街地活性化の観点からまちなかへの居住を促す取組に力をいれてほしい。</li> <li>・住宅ローンの提供、実質無利息となるような金利助成についても検討してほしい。</li> <li>・定住促進のため、情報発信に積極的に取り組んでほしい。</li> <li>・若年層の移住に重点を置いた取組を検討してほしい。</li> <li>●現状のまま継続（5名）</li> <li>・興味を持つ人がいるかもしれないので、首都圏のみならず、他の地域でのPRも検討してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●さらに重点化を図る（2名）</li> <li>●現状のまま継続（8名）</li> <li>・PR方法を工夫しながら、継続してほしい。</li> <li>・利用者増加に向け、医療機関との連携強化が重要である。</li> <li>●内容を改善して継続（2名）</li> <li>・PR不足に思う。分娩に係る助成事業との連携により、PR面の強化・改善を図ってほしい。</li> </ul>
その他意見 指摘事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年配の方は物知りが多く、高校生ガイドの知識と情報量といった観点から、ガイドした内容の吟味が必要である。</li> <li>・高校生ガイドの次のステップとして、ボランティアガイドの育成・強化事業について、検討してほしい。</li> <li>・従来のボランティアガイドと連携した取組を検討してほしい。</li> <li>・専門分野別にガイドを選べる方法など検討してみてもどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの自治体に取り組んでいる事業であるため、差別化が今後の課題となる。</li> <li>・メディアを活用し、「十和田は、災害が少ない安全・安心なまち」をPRしてはどうか。</li> <li>・移住に結びつけるためには、特に仕事（雇用）が重要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市に縁のある人をどのようにUターンさせるかが課題である。他地域との差別化がポイントとなる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な場所に診療できる施設があることがポイントとなる。十和田市立中央病院に産婦人科があることが重要である。</li> <li>・少子化対策として、婚活事業も重要であり、本市における婚活対象者の実態調査や要望把握の取組を検討してほしい。</li> </ul>